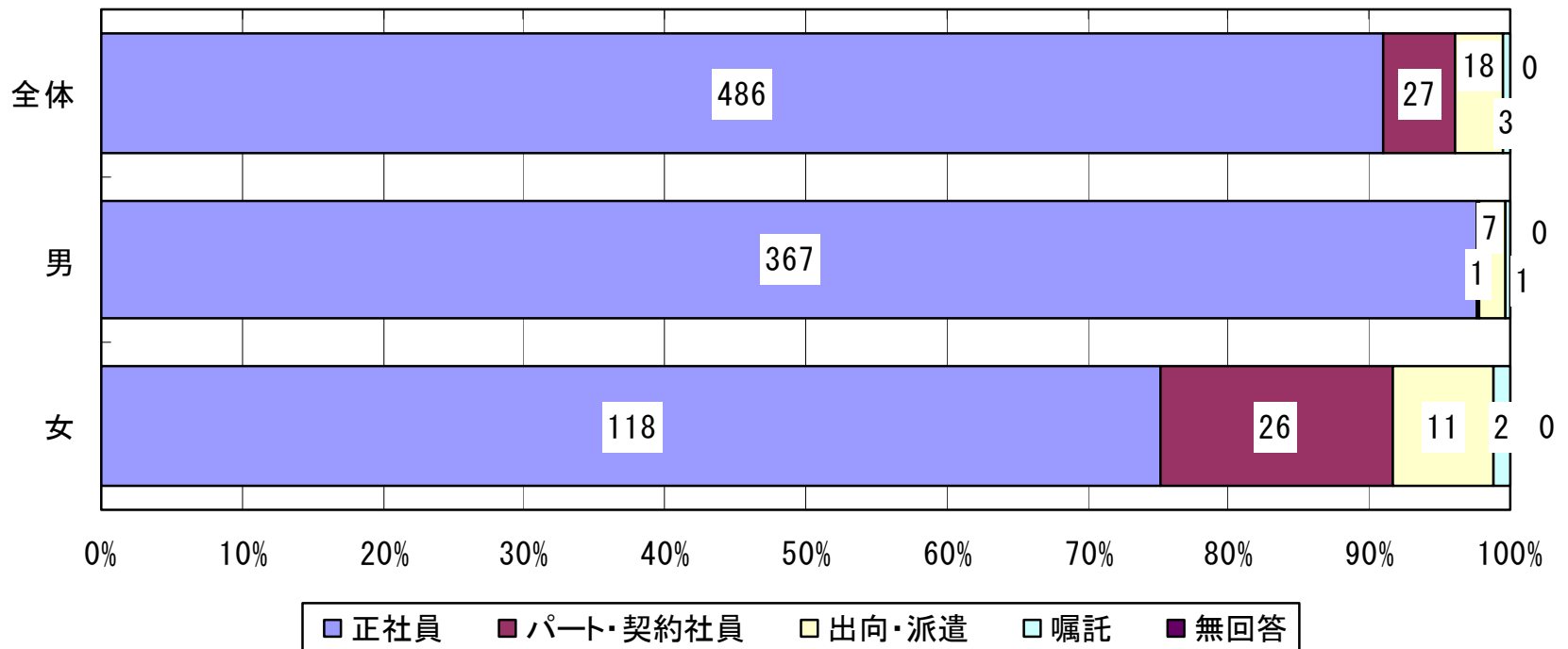


就労女性のメンタルヘルスに及ぼす 職業ストレスに関する調査研究

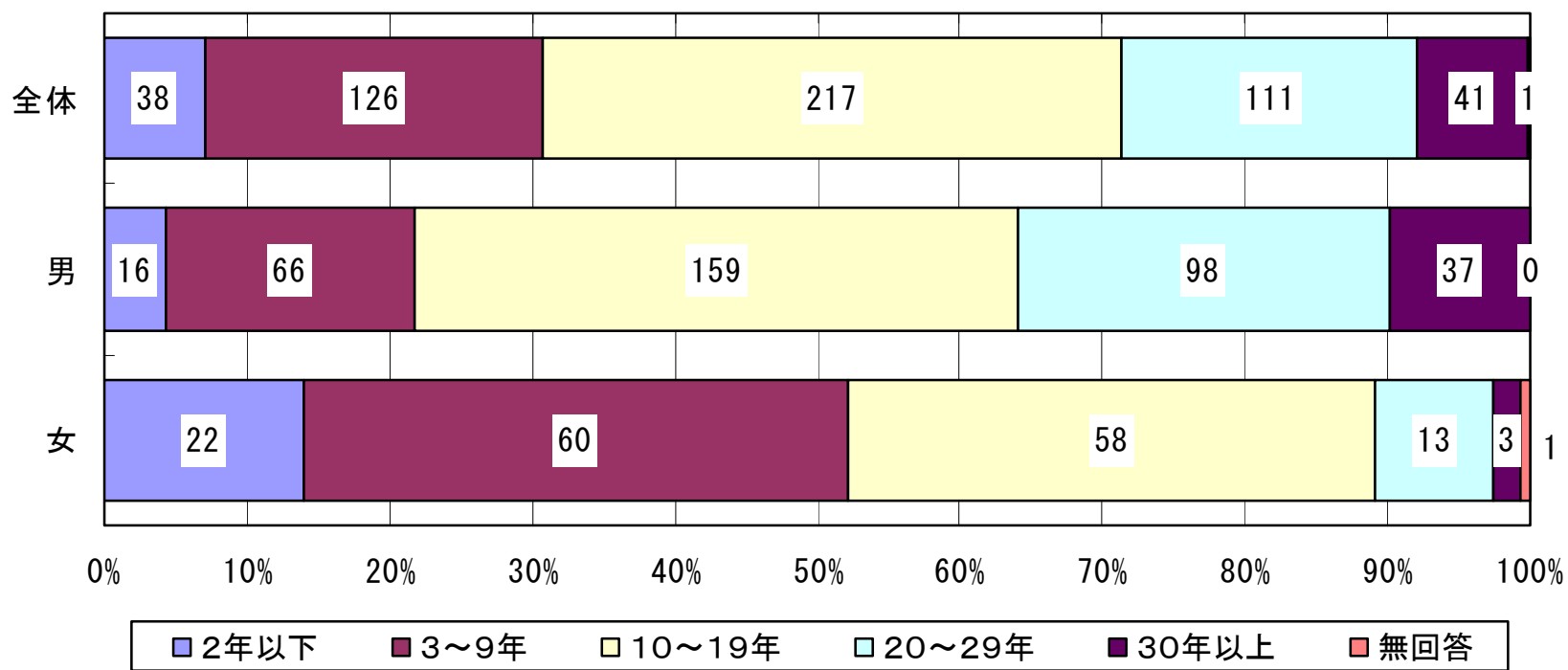
石川産業保健推進センター

小山 善子、森河 裕子、鳥居 方策、
城戸 照彦、佐藤 保

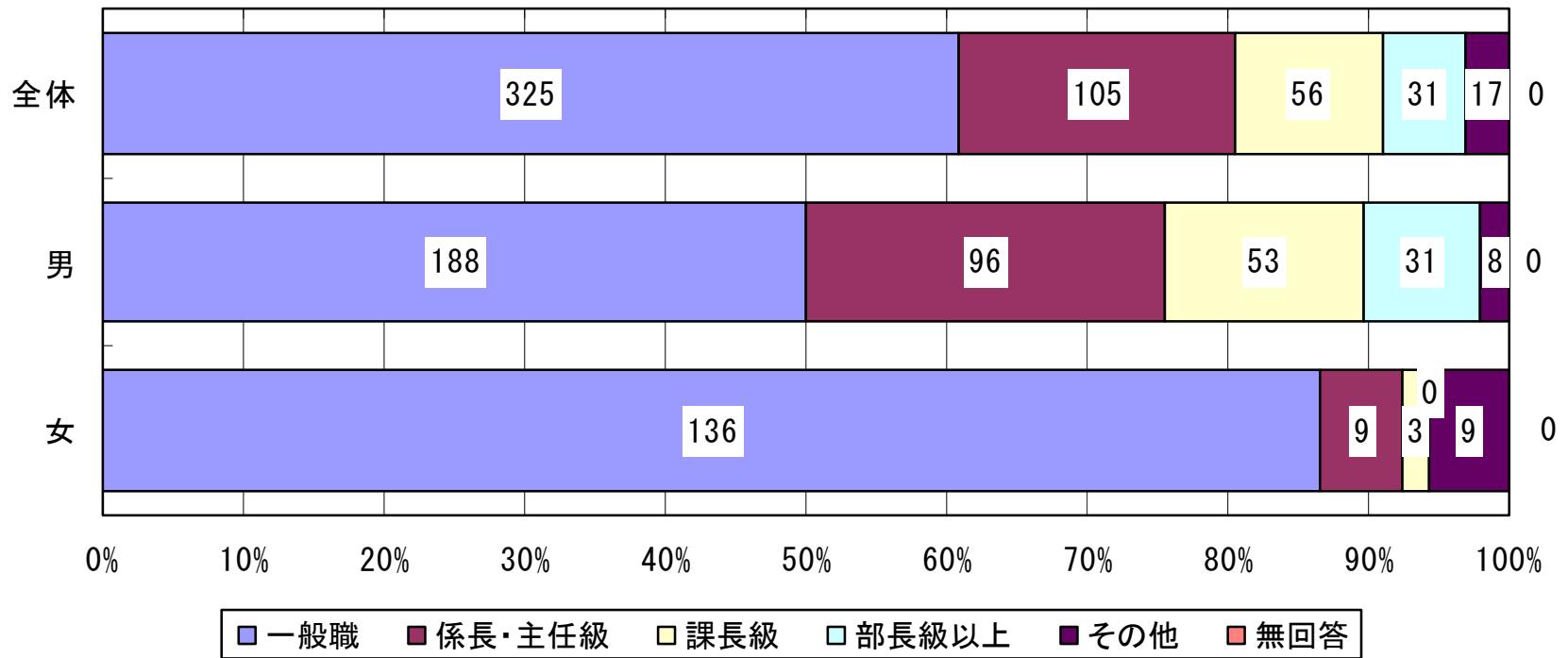
雇用形態



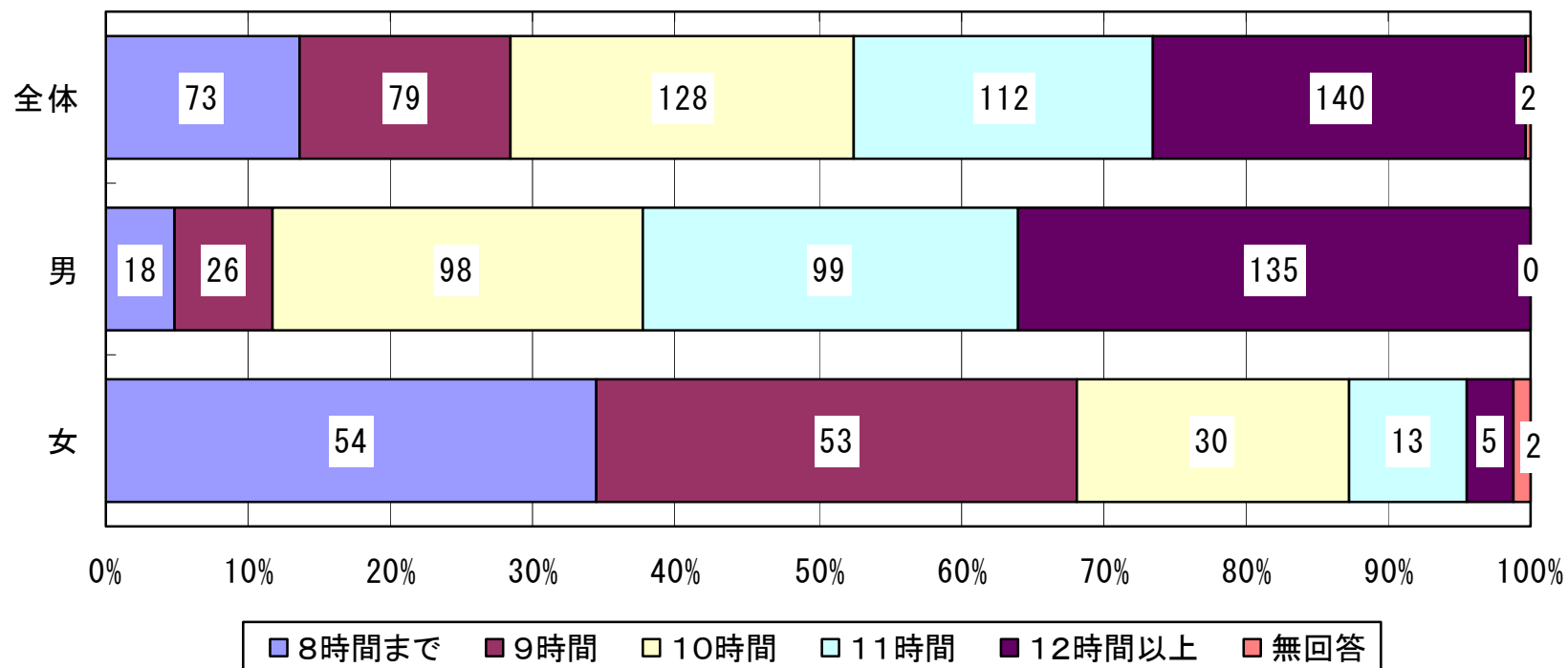
勤続年数



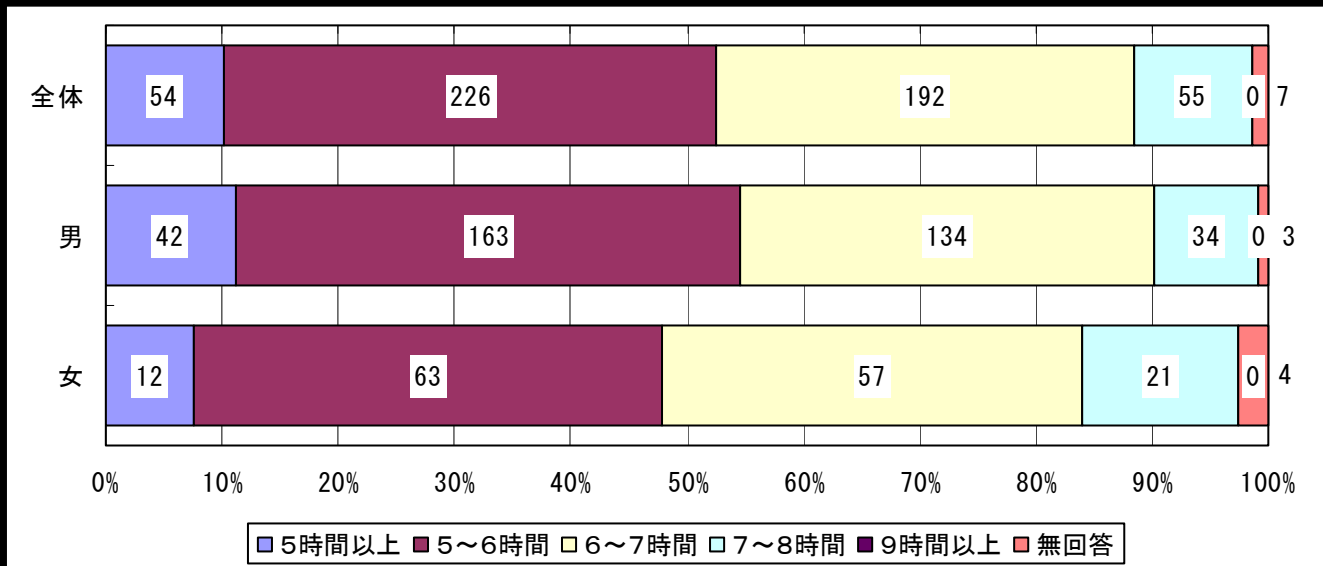
役職



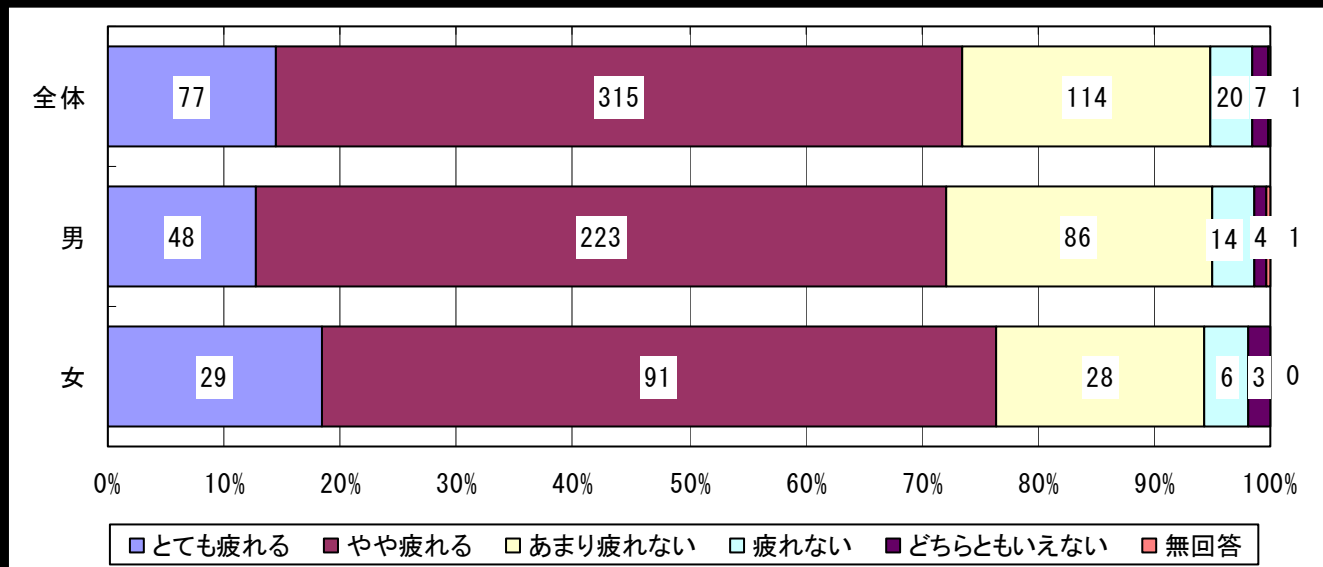
勤務日に働く一日平均時間



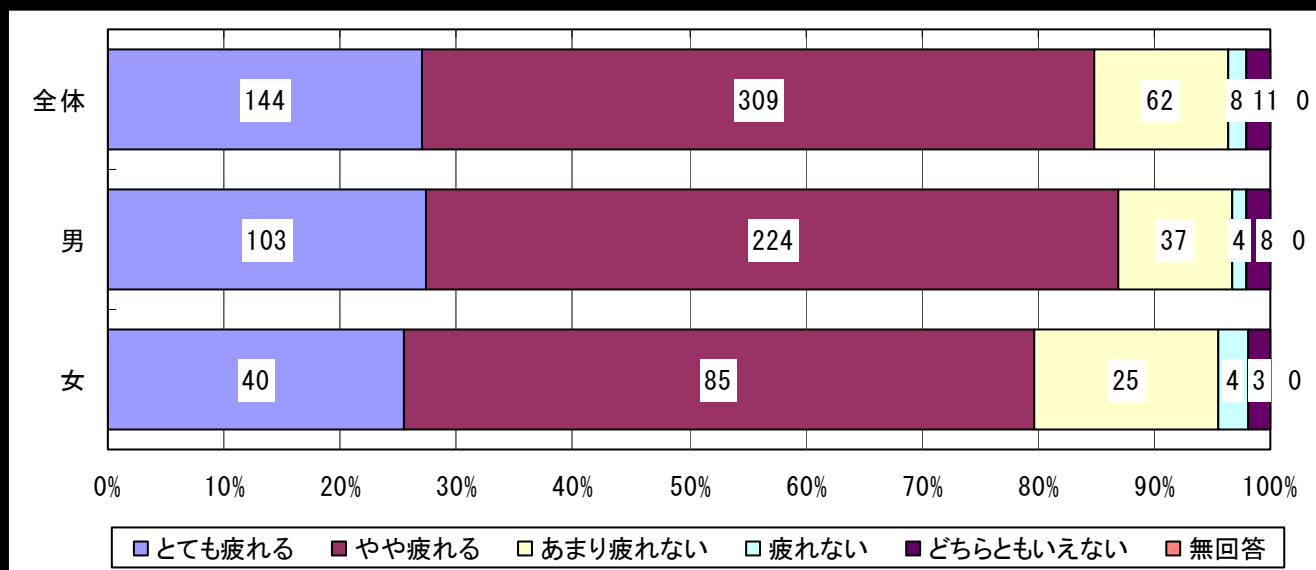
睡眠時間



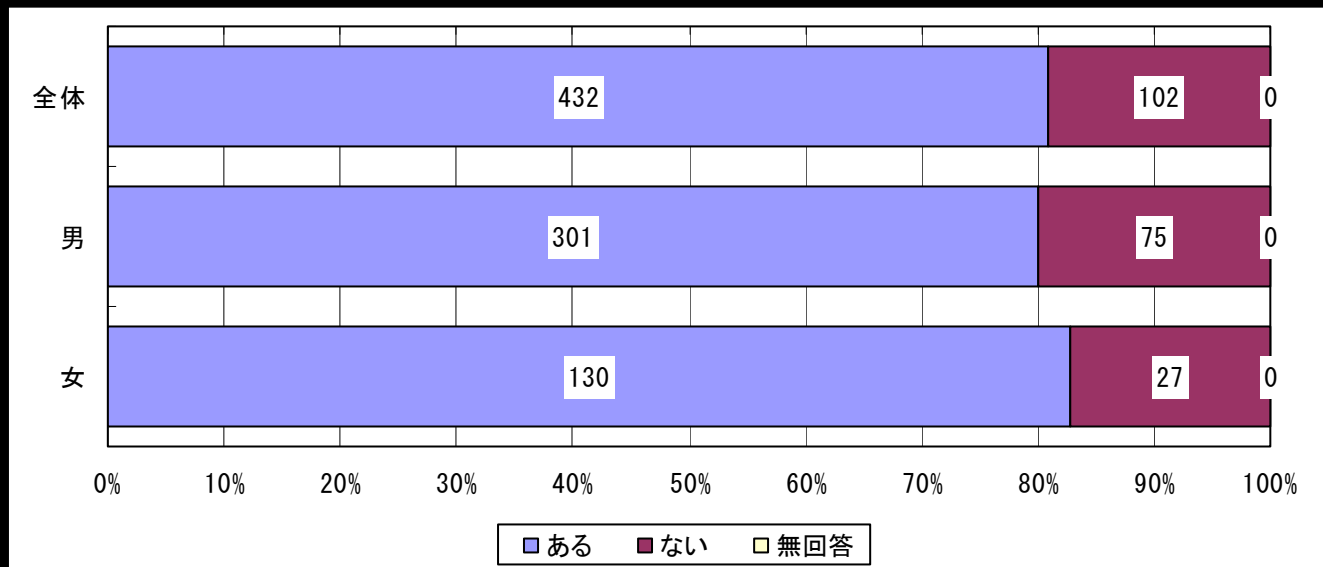
仕事での身体的疲労



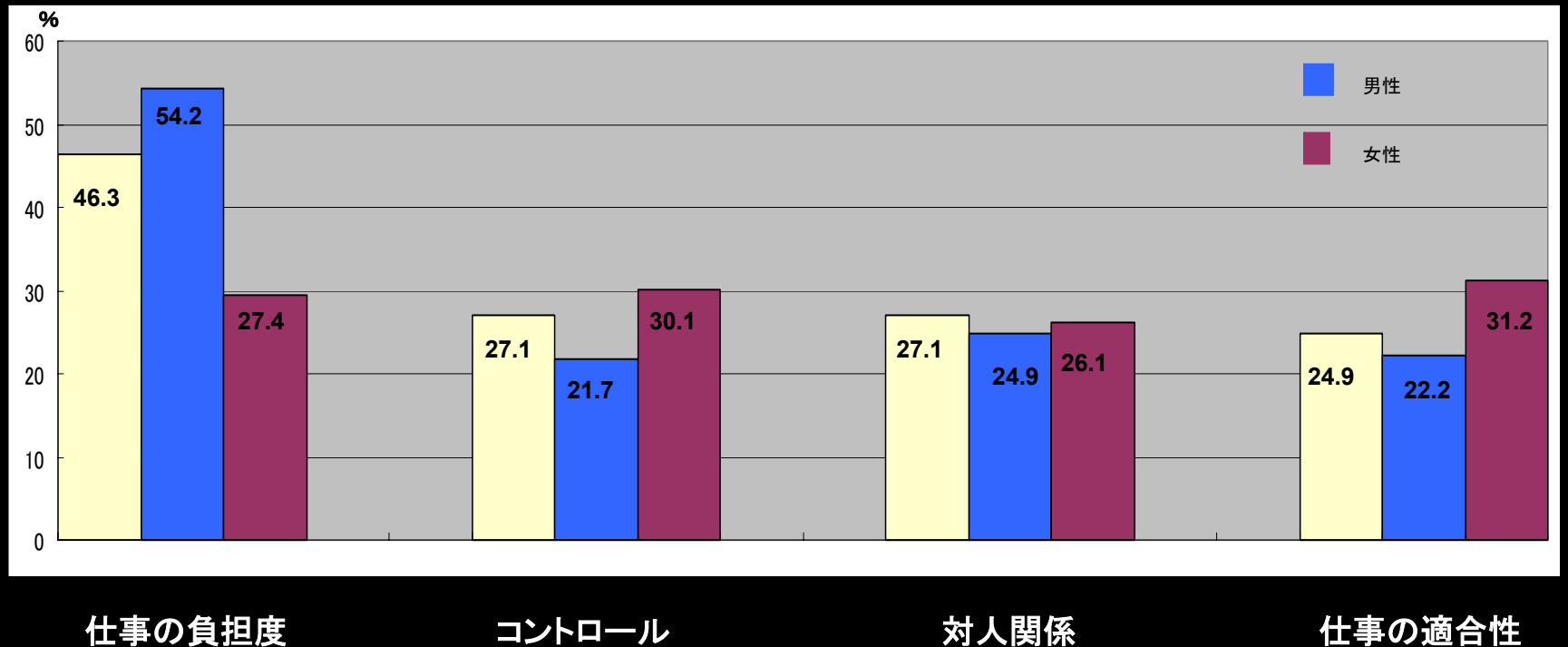
仕事での精神的疲労



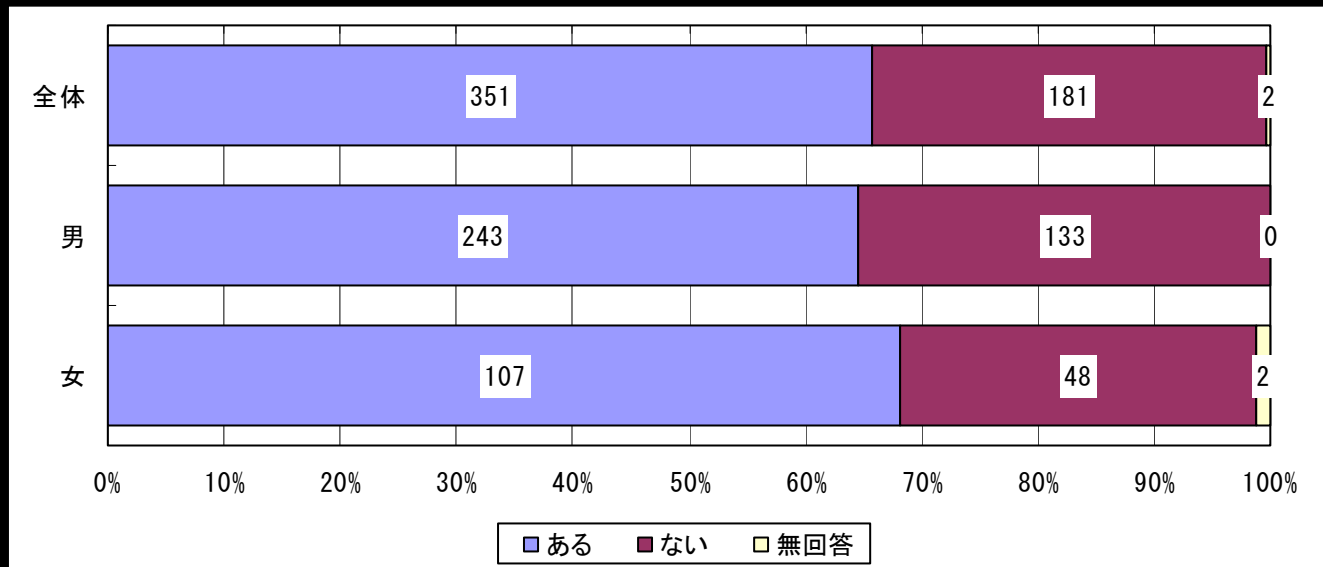
仕事・職場でのストレス有無



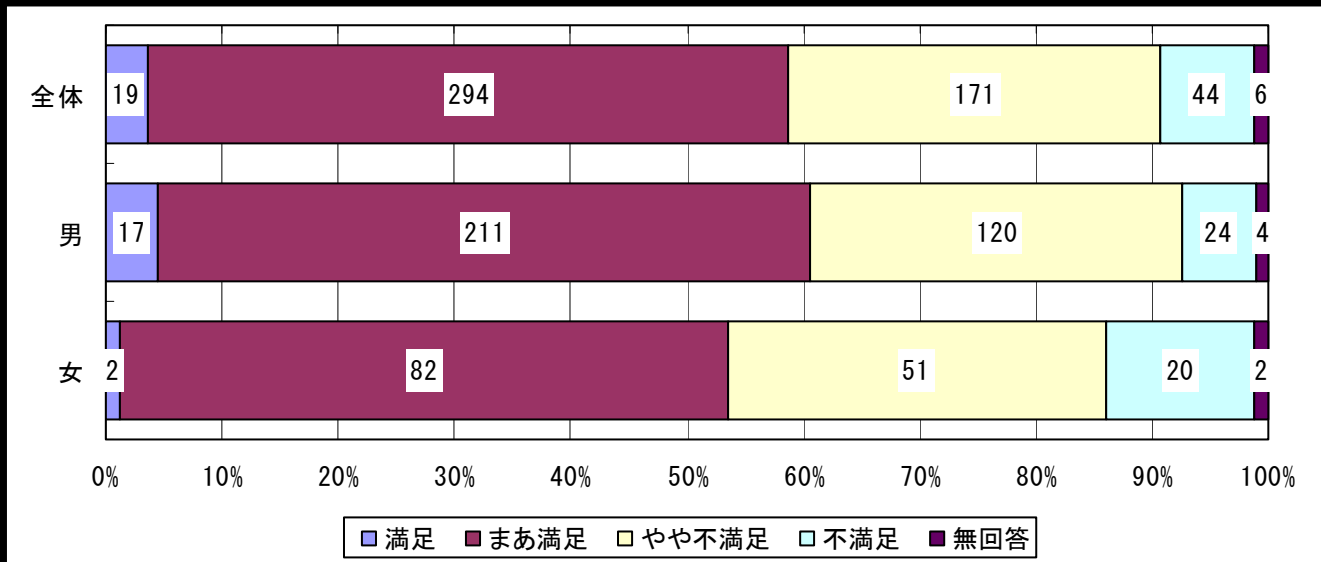
職場内のストレス要因



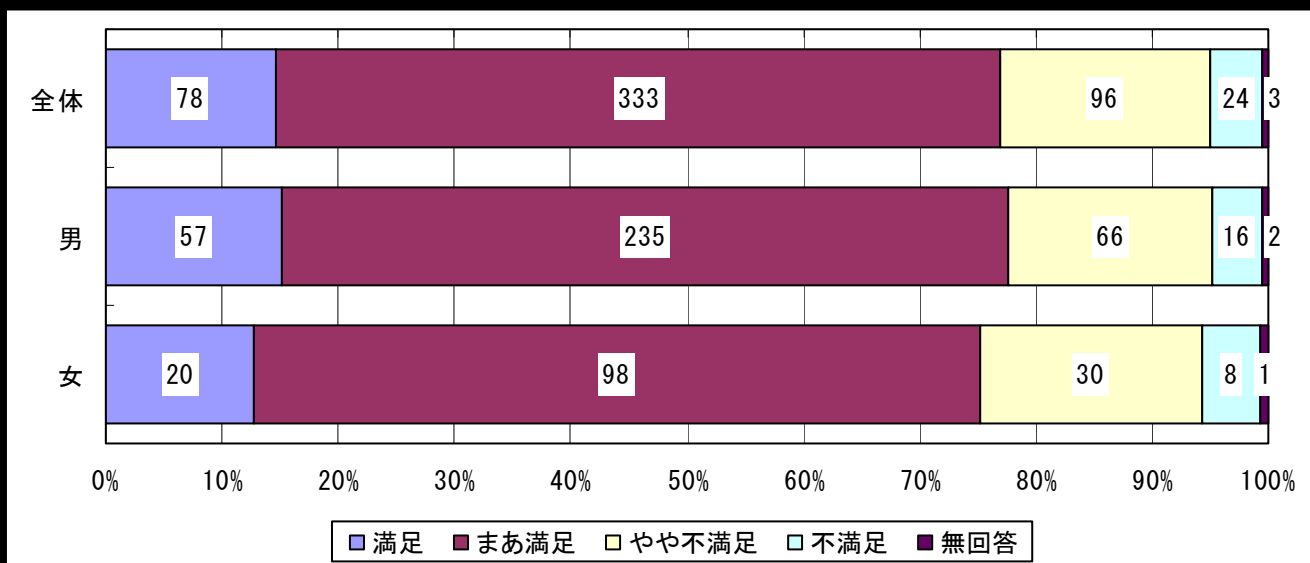
家庭生活での悩み・心配事の有無



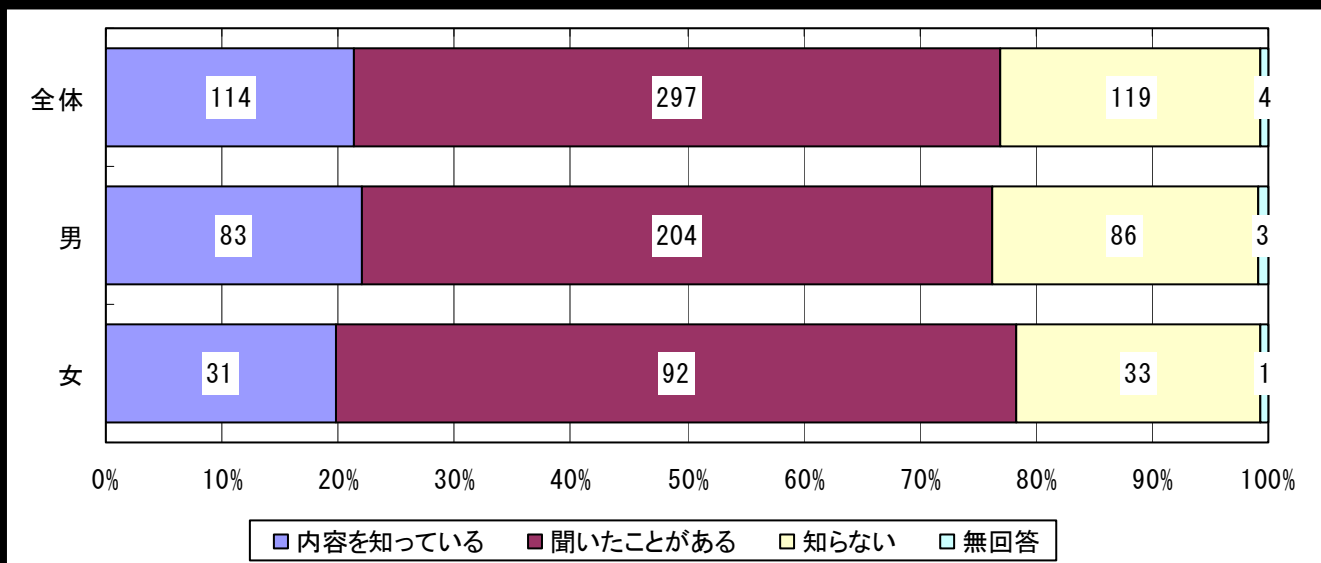
仕事の満足度



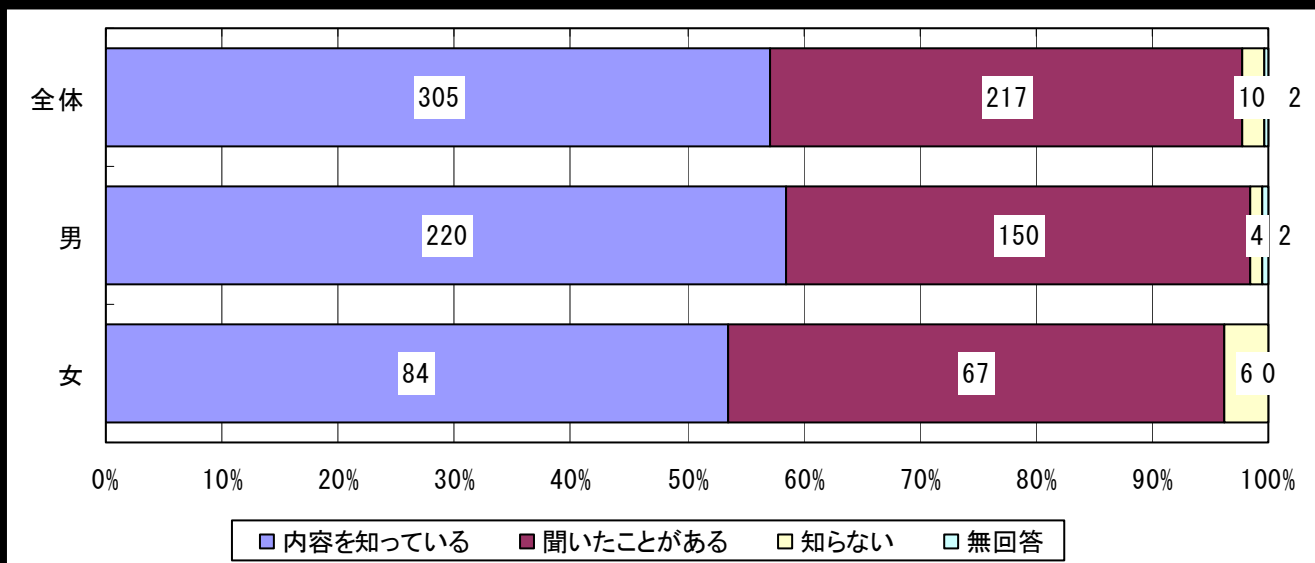
家庭生活の満足度



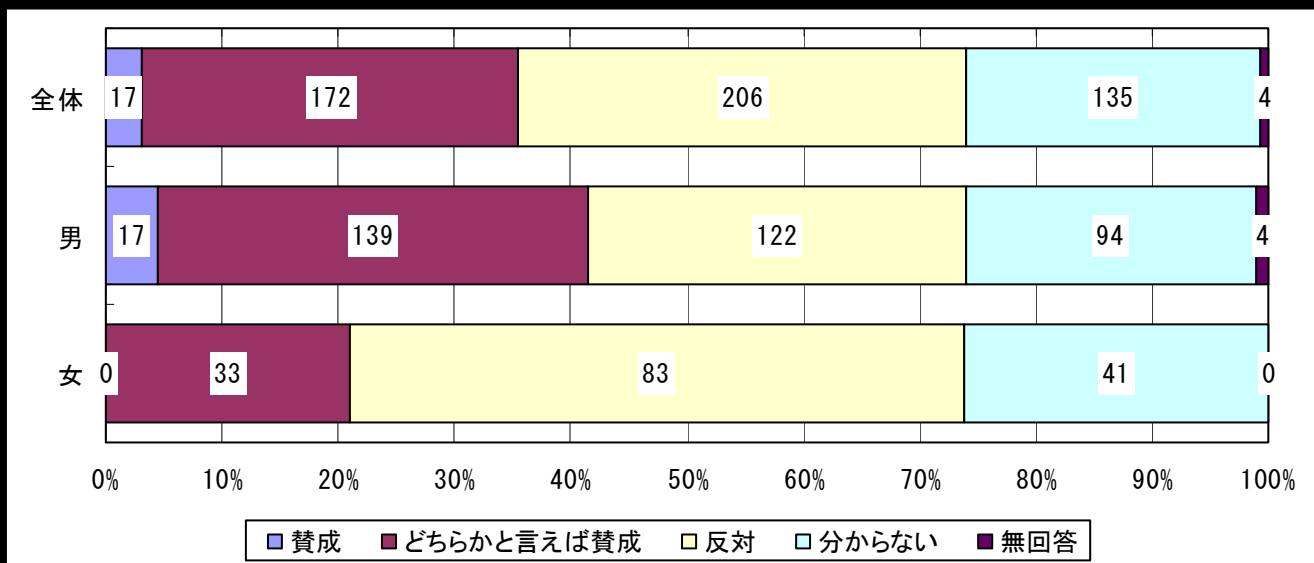
「男女共同参画」認知度



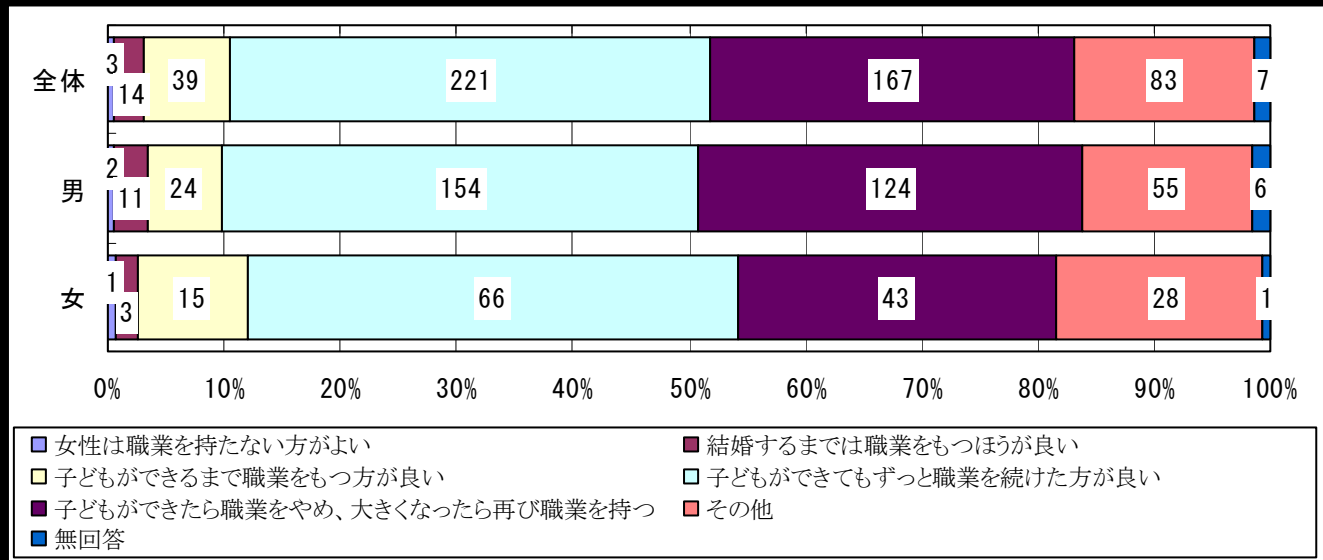
「男女雇用機会均等法」認知度



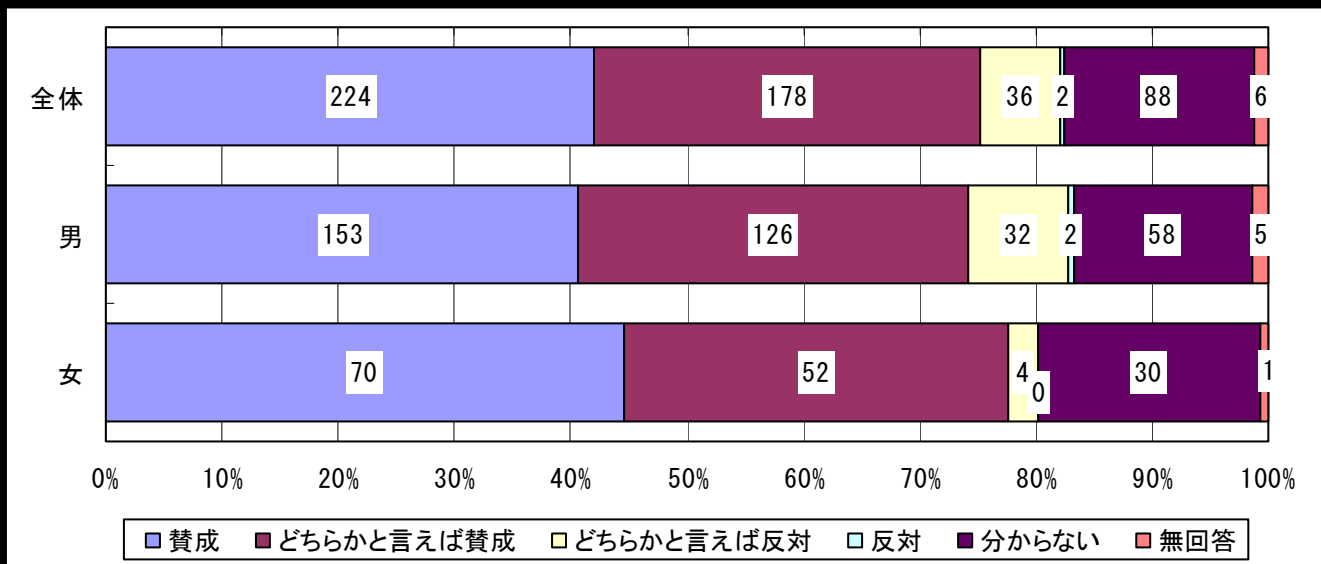
「男は仕事、女は家庭」



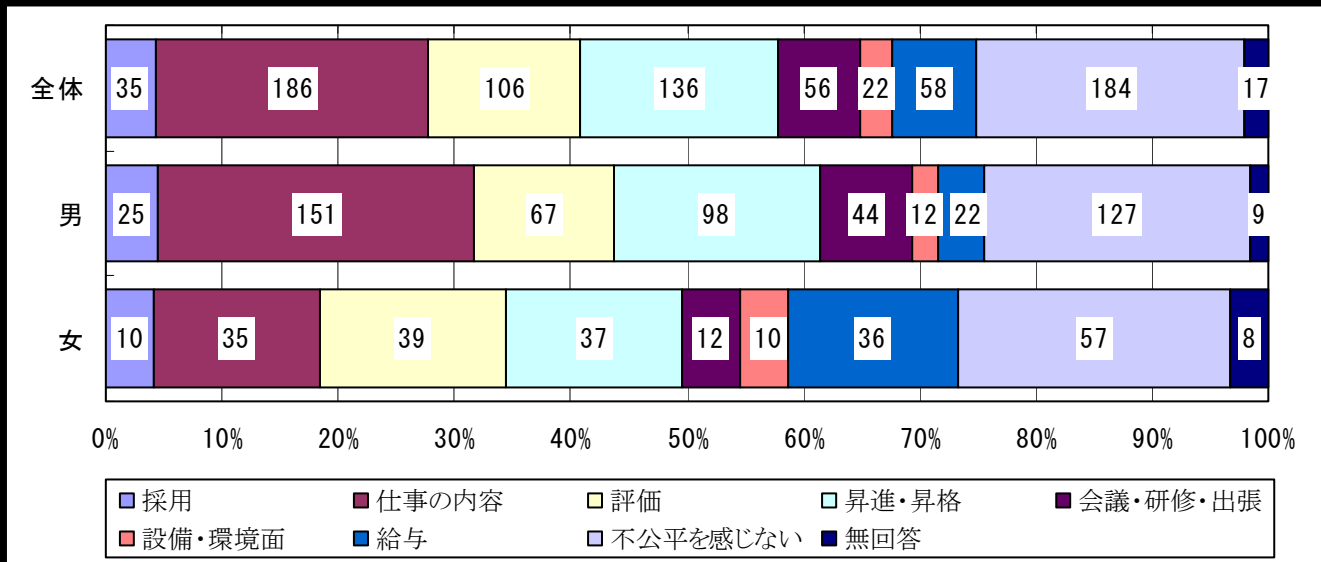
女性の働き方



重要ポストへの女性の登用



職場での男女間の不公平感



GHQ30の要素別平均得点

	一般的 疾患傾 向	身体的 症状	睡眠障 害	社会的 活動	不安と 気分変 調	希死念 慮と うつ傾 向
全体	1.95± 1.55	1.71± 1.50	1.87± 1.66	1.10± 1.53	1.83± 1.74	0.63± 1.37
男性	1.87± 1.55	1.60± 1.51	1.87± 1.66	1.09± 1.53	1.79± 1.74	0.59± 1.33
女性	2.13± 1.53	1.98± 1.43	1.87± 1.64	1.12± 1.52	1.93± 1.73	0.72± 1.45

ストレス項目平均総合個数とGHQ30 平均総合得点

【性別】

	男	女	全体
ストレス項目 数	8.03 ± 2.85	7.89 ± 3.22	7.99 ± 2.96
GHQ30総 合得点	8.80 ± 6.84	9.76 ± 6.47	9.10 ± 6.75

ストレス項目平均総合個数とGHQ30 平均総合得点

【年齢別】

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	全体
ストレス項目数	9.19±	8.09±	7.97±	7.59±	1.50±	7.99±
	3.02	2.76	3.06	3.00	1.50	2.96
GHQ30総合得点	9.89±	8.59±	9.49±	8.35±	7.00±	9.10±
	7.01	6.42	6.76	7.34	2.00	6.75

仕事の満足度とGHQ30の平均得点

仕事の満足度	満足	まあ満足	やや不満足	不満足
	5.37 ± 5.02	7.28 ± 5.73	10.75 ± 6.83	16.48 ± 6.66
男性	5.35 ± 5.17	6.92 ± 5.70	11.06 ± 7.17	16.83 ± 6.20
女性	5.50 ± 3.50	8.10 ± 5.71	10.02 ± 5.89	16.05 ± 7.16
20歳代	5.25 ± 2.28	7.63 ± 6.20	10.57 ± 6.13	19.27 ± 5.80
30歳代	2.75 ± 1.98	7.14 ± 5.71	10.42 ± 6.21	14.44 ± 7.34
40歳代	3.50 ± 3.91	7.90 ± 5.70	10.98 ± 7.31	16.00 ± 5.81
50歳代	15.00 ± 2.45	5.47 ± 4.91	11.71 ± 8.71	21.00 ± 3.00
60歳代		7.00 ± 2.00		

まとめ

1. 仕事・職場で不安・悩みやストレスを感じる人は8割を超え、前回（平成12年度調査）と比べ5ポイント増加。女性の方がやや多い
2. 男性は「仕事の量・質」、女性は「コントロール」「仕事への適合性」でストレス。
男性の長時間勤務者の増加
3. 「仕事の満足度」も前回より低下。「まあ満足」以上は男性60.2%、女性53.4%
女性は半数近くが仕事に「不満足」

4. 「男女共同参画」「男女雇用機会均等法」の言葉の
認知度20～50%

「男は仕事、女は家庭」「重要ポストへの女性登用」
「女性の働き方」など男女で認識の差

5. GHQ30から見た精神健康度は平均総合得点で
男性8.80±6.84、女性9.76±6.47で女性の方が
高得点で精神健康不良。

GHQはストレスの有無、仕事の満足度が影響。

更なる職場のメンタルヘルスへの取り組み、女性が
健康で満足して仕事ができる職場環境の整備が
急務である結果であった。